

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成24年度第1回 第1分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成24年10月19日（金） 午前10時～正午
場所	江南市市民体育会館 2階 第1会議室
出席者	市民委員 後藤 俊夫、宮川 秀男、望月 晴夫、安藤 哲子、岩井 喜美子、前田 哲郎、松本 千賀子
	市職員 米田 隆彦、小塚 昌宏、大藪 勝寛、伊藤 幸実、水野 修、古田 勝己
議題	1. 江南市戦略計画について 2. まちづくり会議について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 会長及び副会長の選出 5. 施策評価の結果について 6. 第2回の会議日程について
資料	資料1 まちづくり会議について 資料2 平成23年度施策評価の結果

◆ 会議結果 ◆

1. 江南市戦略計画について

- ・経営企画部長より、江南市戦略計画について、これまでの策定経緯やその概要の説明がありました。

2. まちづくり会議について

- ・行政経営課行政マネジメントグループリーダーより、資料1に基づき、まちづくり会議の目的、組織、役割、今後のスケジュールについて説明がありました。

3. 委員の自己紹介

- ・各委員から自己紹介がありました。

4. 会長及び副会長の選出

- ・会長に宮川秀男氏、副会長に岩井喜美子氏が選出されました。

5. 施策評価の結果について

【柱1】安心・安全な地域づくり

- ・資料2に基づき、委員（防災安全課長）より説明がありました。

【施策①】災害対策活動の充実・強化、有事対策の確立

- ・防災用資機材助成の申請率が80.9%で、68団体中13団体が未申請との結果に対して質問があり、要因としては集合住宅からの申請率が低いため、自主防災会長会議の折に防災資機材の助成要件・内容を周知するようにしているとの説明がありました。
- ・“自主”防災訓練にもかかわらず、行政まかせの訓練になっており、訓練の在り方や内容を検討する必要があるとの意見がありました。これに対して、今年度初めて、訓練実施後に、今後の防災訓練の実施方法等について、行政主体の訓練でよいか、地区主体の訓練がよいかについても、防災会にアンケートを実施しており、すべての地区の訓練が終了した段階で、結果を公表したいとの説明がありました。
- ・防災訓練の中身より、訓練の日だけ人を集めて実施している印象が強いとの意見がありました。

- ・地元では火災が発生すると、住民自ら消火器を持ってきたり、ホースを出してきたりと、消防車が来る前に草の根的に住民が行動していることもあり、訓練の成果として、認める必要があるとの意見がありました。
- ・行政（消防職員）の立場からは、建物火災や枯れ草火災の際、住民が消火器や簡易消火栓、畑かんを使って初期消火をやっていただいているケースもあり、非常に感謝しているとの意見がありました。
- ・また、事故などの際は、昔は触らないほうがよいとの考えもあったが、積極的に救護していただいているケースもあり、当然、感染症のリスクもあるため、訓練において、そういった知識の普及も図っていきたいとの意見がありました。

6. 第2回の会議日程について

- ・第2回、第3回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第2回> 10月24日（水）午後1時30分～

<第3回> 11月 7日（水）午前9時30分～